

『JR総連近畿地協情報』（2024. 4. 30）に対する見解

4月30日、JR総連近畿地方協議会は、『JR総連近畿地協情報』を発行しました。私たちは、JR総連近畿地方協議会が『情報』を発行するまでの近畿地協（山本事務局長）とのやりとりを明らかにして、『JR総連近畿地協情報』に対する見解とします。

4月26日の午後に、近畿地協の山本事務局長から笹田副議長（JR東海労新幹線関西地本委員長）に「津崎議長のところにも総連山口委員長名で封筒が送られて来た。内容は津崎議長の辞任を求める内容で、総連山口委員長に津崎さんが確認したが、山口委員長は、そんな物を出していないと言うことです。こんな行為を許してはいけけないので、地協として情報を出したいので、電話で持ち回り確認として了承願います。」とのことでした。

これに対して笹田副議長は山本事務局長に、「山口委員長名で届いた手紙と発行する情報を見せて頂きたい。」とお願いしました。そして4月27日の午前には、山本事務局長から浦谷常任委員（JR東海労新幹線関西地本書記長）に「地協としての意志表示をするものを出したいので承認して欲しい。」という連絡がありました。これに対して浦谷常任委員は、「津崎さんの自宅に届いた手紙と、地協として出そうとしているものを確認しないと承認は出来ない。」と対応しました。

すると、山本事務局長の対応は、「意見は津崎議長に伝える。」との事でした。そして、その日の午後に山本事務局長から、津崎議長に送られてきた封筒が【別紙2】で、その中身が【別紙3】に書かれている内容で、『情報』の案分が【別紙1】だということが明らかになりました。

これを受けて、地本執行委員会で相談して、以下の内容を浦谷常任委員が山本事務局長に返信しました。

「近畿地協の情報を拝見しました。津崎議長への手紙自体に対するの考えを明らかにする必要がありますが、手紙の内容は、私自身への誹謗中傷でもあります。情報の内容を以下のようにして、近畿地協としての毅然とした立場を明らかにして頂きたいと思います。

近畿地協情報の冒頭「4月24日、差出人「JR総連執行委員長 山口浩治」を名乗る「怪文書」が近畿地協議長「津崎修」氏の自宅に郵送されてきました。」の後を、以下のようにお願いします。

『①私たちは、怪文書の発行やデマ宣伝によるJR総連組織に対する混乱・破壊攻撃を許しません。

②怪文書の内容的には、「関西地本の浦谷書記長をはじめとした、様々な嫌がらせ、挑発、恫喝行為」という部分は事実無根です。その意味では、津崎議長だけでなく関西地本の浦谷書記長に対する名誉毀損でもあります。』

宜しく申し上げます。」

これに対する山本事務局長の回答は、「浦谷さんの意見は分かりました。しかし、今回は、津崎議長の自宅へ送られてきた怪文書に対する考えなので、地協としては、送った情報でいきたい。」との返答でした。

浦谷常任委員は、「浦谷による恫喝と表現している部分を肯定するのではなく否定すべきです。仲間を大事にして毅然とした姿勢を明らかにすべきです。私と東海労としては、地協情報案では、不十分であり納得いかない事を明らかにしておきます。」と主張しました。

以上のように、JR総連近畿地協は、「怪文書」を許さない情報を発行していますが、郵送物の住所等の形式を指摘するだけで、怪文書の目的がJR総連の組織混乱・破壊であることを明確にできていません。私たちは、組織混乱・破壊攻撃に対する毅然とした対応を地協に要請しましたが、受け入れられませんでした。

私たちは、今回の怪文書の発行やデマ宣伝によるJR総連組織に対する混乱・破壊攻撃を許しません。

以上

2024年4月30日

JR東海労働組合新幹線関西地方本部

J R 総連近畿地協情報

J R 総連近畿地方協議会
発行責任者 津崎 修
発行日 2024. 4. 30

近畿地協議長に対する「怪文書」は許さない！！

4月24日、差出人「J R 総連執行委員長 山口浩治」を名乗る「怪文書」が近畿地協議長「津崎 修」氏の自宅に郵送されてきました。

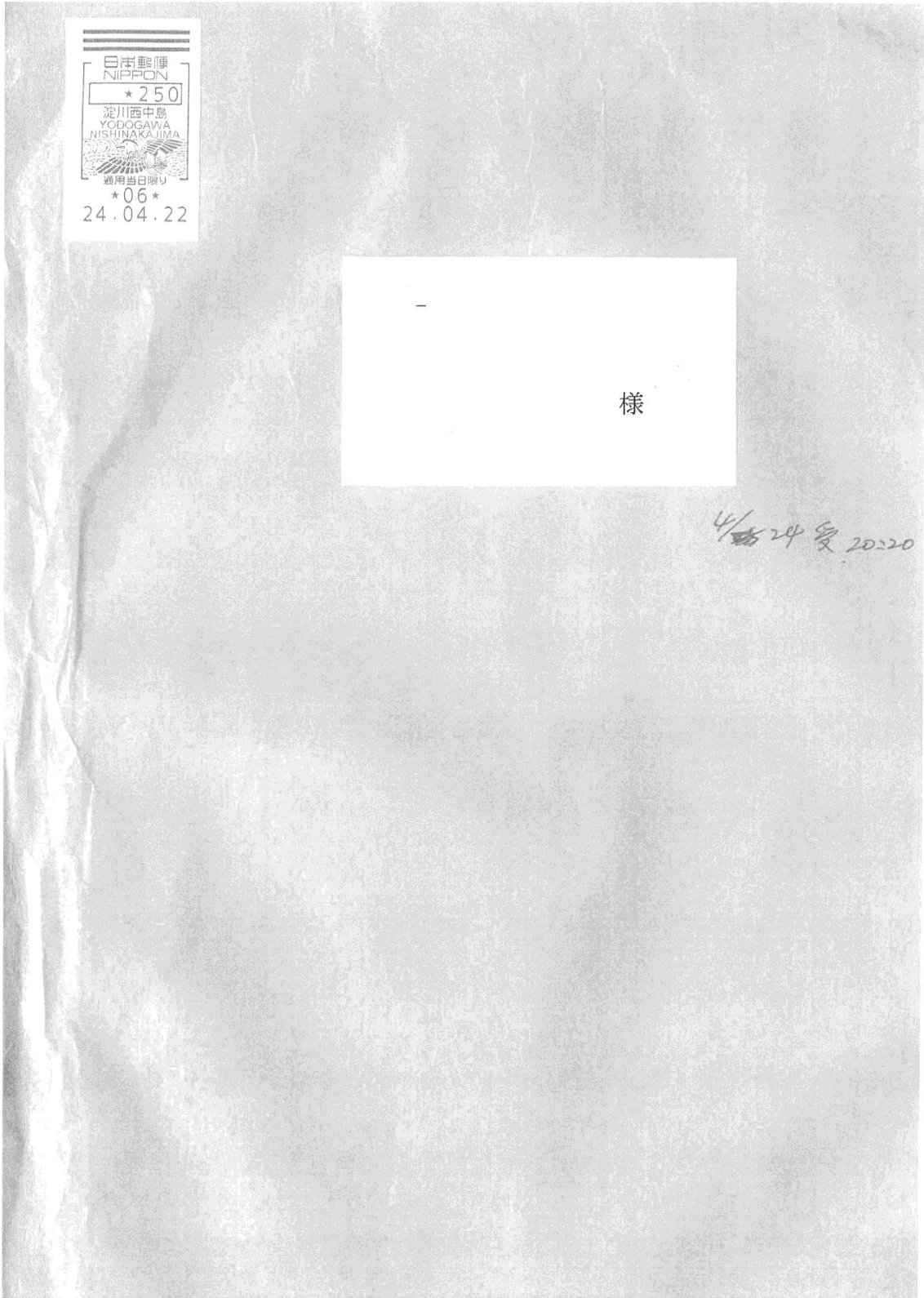
差出人住所は、J R 総連の住所となっているものの、「目黒さつきビル301号」は旧住所で間違っています。さらに消印は「淀川西中島」です。

怪文書の内容は、津崎議長に「嘘はよくない」として、東海労関西地本に「謝罪」をし、役職を降りることを「強要」しています。

このような行為は、謝罪を強要する犯罪行為以外の何ものでもありません。

**私たち近畿地協は、犯罪行為を許しません！
一丸となってたたかっています！**

【別紙2—1】



【別紙2-2】

差出人

141-0031
品川区西五反田 3-2-13
目黒さつきビル 301 号

執行委員長

山口 浩治

【別紙3】

拝啓、近畿地協・津崎議長様

連日のご活躍、ご苦労様です。

昨年11月26日の地協の定期委員会以降、東海労関西地本の浦谷書記長をはじめとした、様々な嫌がらせ、挑発、恫喝行為に屈することなく立ち向かわれていることに敬意を表します。

JR総連も出来る限りの対応を、全国の仲間と共に連帯して今後とも闘っていく所存です。

さて、同封した資料は①4/1付の「JR総連の旗のもとに結集する7単組・JR総連からJR東海労の仲間へ訴える!」、②東海労関西地本が現時点でもホームページに掲載している「過ちは改むるに憚ること勿れ」のシリーズ物です。

私は、改めて総連がこの間発出している「連絡文書」や「見解」「声明」を見直してみました。同時に東海労関西地本のホームページも併せて見直しました。そこで、改めて気づいたことは、やっぱり「嘘はよくない」ということです。昨年11月27日付けの津崎議長からの「報告文書」は、やはり「嘘」の報告なんですね。これは組織人としてあってはならぬことです。

第40回総連大会の代議員選挙については、これも揚げ足を取られるような規約・規則をまったく無視したために付け入る隙を与えてしまいました。しかし、弁護士の先生にも相談したところ、もし法廷にでも持ち込まれたら「絶対負ける」と言われました。

そこでお願いです、東海労関西地本と正面から議論していただけないでしょうか?この間の対応についてまず「謝罪」し、今年の貨物の大会をメドに役職を降りることも検討していただきたいと考えています。

ご検討ください。

2024年4月22日

JR総連 山口 浩治